



「白鳥に見える？」大北川下流の白鳥（解説は15ページ）

### 主な記事の内容

- 一般質問（8名が質問） 2～9
- 常任委員会の審査内容 10～12
- 定例会提出議案審議結果 13
- 全員協議会、議会運営委員会 他 14～15
- 次回定例会日程ほか 16



議会だよりQRコード

## 複合災害への対応について



上神谷 英典 議員

市長

命を守ることに最善を尽くしていきます

**問** 当市の危機管理体制について伺う。

**総務部長** 危機管理体制としては、地震・風水害等の自然災害、武力攻撃等の緊急対処事態は、総務課防災係が中心となり、その他感染症、健康危機などは、健康づくり支援課が対応する体制となっています。

自然災害では、北茨城市地域防災計画及び業務継続計画に沿って、緊急対処事態では北茨城市国民保護計画、健康危機では新型インフルエンザ等対策行動計画により、担当部課それぞれの事務分掌が定められており、原則はそれに沿って対応することとなっています。

**問** コロナ感染症が広がる中、併せて自然災害が発生する可能性も視野に入れた複合災害への対策はいかがか。

**総務部長** 複数の災害が同時期に発生する複合災害は甚大な人的・物的被害をもたらします。

これらに適切に対応するためには、原子力対策計画を含む地域防災計画の確実

な実行や、他の計画との組合せによる運用を図ることが重要であると考えています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大が予断を許さない状況の中、自然災害のみならず、感染症リスクに対する備えが重要となっております。新たに新型コロナウイルス感染症をふまえた避難所運営に関する指針を作成しました。

**問** 広域防災の見解と応援協定について伺う。

**総務部長** 現在、100余の県内外の自治体、24の公的機関、事業者など災害時相互応援支援協力、物資供給などの協定を締結しています。相互の連携を密にし、協力体制が十分に発揮できるように努めていきます。

**市長** 市民の命を守るのが最重要であると認識しています。それには当然ながら応援協定を結んでいる方々、国県からの支援などをふまえながら、今後も市民を守るために最善を尽くす考えです。

### 郷土の偉人顕彰の事業について

**問** 未来を担う子供たちの郷土教育の現状を伺う。

**教育部長** 郷土教育の手引書である「輝く北茨城」や小学校社会科の副読本「希望にみちた北茨城」などを活用して、郷土の偉人について学習を行っています。

小学校4年生の社会科では、十石堀と沼田主計ぬまたのなすえを取りあげるなど、郷土の偉人、歴史的資産、伝統や文化についての学習活動をおこなっています。

**問** 市民には十分知られていない偉人もいる中で、飛田周山ひだしのやまについてはいかがか。

**教育部長** 画壇で活躍し、教科書などの挿絵など多くの作品を残した作家として知られている周山です。

現在、歴史民俗資料館に飛田周山の代表作「峯の行者」が周山会より保管と周知を目的に寄託を受けています。それらを中心に企画展を開催することで、さらなる顕彰を進めます。

**市長** 北茨城出身の郷土の偉人を顕彰することは当然のことです。

特に十石堀の沼田主計については、子孫のためにどのように残すかその業績も研究しながら、できるならば当初予算で顕彰していく必要があると思っています。吉田松陰が当地に来ていたということも広く知っていただくために、その石碑をわかりやすい場所に移動したいと考えています。

飛田周山については、五浦の関係者ですので、当然そこで、岡倉天心、横山大観とともに顕彰していくということも大切であると思っています。

また、忘れてならない人物は、幕末に活躍した西丸さいまる帯刀たてかみです。この方も、まだまだ市民が知れるところではないので、顕彰する必要があります。郷土の偉人を愛するため啓蒙活動をしながら、偉人顕彰を進めます。



松本 正春 議員

## 安全に配慮した避難道路の早期の整備について

都市建設部長

### 早期完成を目指し整備を進めていきます

#### 災害避難道路事業について

**問** 北町・関本中線の進捗状況について伺う。

**都市建設部長** 当路線は、東日本大震災により甚大な被害を受けた沿岸部から内陸部へ通じる避難道路として、平成26年度に事業の採択を受け、現在まで整備を進めています。

現在の進捗率は約80%で、早期の完成を目指し整備を進めています。

**問** 周辺の付帯工事について伺う。

**都市建設部長** 周辺の道路整備については、供用開始後の利用状況などを見ながら検討していきます。

**問** 開通時期について伺う。

**都市建設部長** 今年度の完成は難しい状況ですが、一日も早い完成に向けて整備を進めていきます。

**問** 安全対策について伺う。

**都市建設部長** 供用開始時における安全対策については、関係機関と協議を行います。

路面標示や交通安全施設を適切に配置することで、交通の安全に配慮していきます。

**問** 北町・浜田線の進捗状況について伺う。

**都市建設部長** 北町・関本中線と同様に、沿岸部から内陸部へ通じる避難道路として、25年に事業が採択され整備を進めています。進捗状況は、県道山根・大津港線から北側の市道交差点までの区間については、整備が完了したため、令和2年3月に一部区間の供用を開始しましたが、その後の事故を受けて現在は封鎖をしています。

残る整備区間である、国道6号線から県道山根・大津港線までの進捗率は70%です。当路線についても、道路の持つ性格を鑑み、一日も早い完成を目指し整備を進めます。

**問** 開通時期について伺う。

**都市建設部長** 年度内の完成は難しい状況ですが、早期の完成へ向け整備を進めます。

**問** 安全対策について伺う。

**都市建設部長** 事故があった交差点については信号機が設置されることになりました。残る交差点についても、安全な道路として供用開始できるよう、信号機を設置する方向で県警と協議しています。

**問** 安全対策について伺う。

**都市建設部長** 事故があった交差点については信号機が設置されることになりました。残る交差点についても、安全な道路として供用開始できるよう、信号機を設置する方向で県警と協議しています。

#### 水道事業について

**問** 華川浄水場工事の進捗状況について伺う。

**水道部長** 華川浄水場更新工事は、27年度から令和2年度までの6年間で、現在、80%弱ですが、残りの工期で完成できるよう努めます。

**問** 既設設備の使用について伺う。

**水道部長** 完全に移行するまでの間は、現在使用中の汚泥濃縮槽及び脱水機は使用する予定です。

**問** 機械設備などについて伺う。

**水道部長** 機械設備類は随時搬入していますが、80%程度入っています。また、電気系統類は50%程度です。

が、完成までに鋭意努力していきます。

**問** 試運転について伺う。

**水道部長** 完成後、速やかに開始する予定です。

**問** 既存施設の撤去について伺う。

**水道部長** 新浄水場の供用後に撤去予定です。

**問** 老朽管の更新計画について伺う。

**水道部長** 老朽管の更新は毎年度計画的に行っています。今年度は上相田、豊田、磯原本町、神岡上、神岡下、里根川、大津地区の計7地区を計画、神岡上及び大津地区以外の5地区は完了し、進捗率は71%です。

**問** 漏水事故について伺う。

**水道部長** 11月末で上水配水管の漏水事故が14箇所、工業用水で1箇所ありました。

**問** 来年度の水道管更新計画について伺う。

**水道部長** 本年度と同程度の予算で、8地区、約1700mの更新を計画しています。



豊田 弘俊 議員

## お悔やみコーナーの設置について

市長公室長

慎重に検討を進めていきます

### 関南町の避難道路について

問 開通時期について伺う。

都市建設部長 北町浜田線について整備が完了した区間は、沿岸部から内陸部へ通じる避難路としての役割があることから、令和2年3月に一部供用を開始しましたが、その後の事故を受けて、現在は封鎖をしています。

残る国道6号線から県道山根大津港線までの区間については、年度内の完成は難しい状況ですが、一日も早い完成を目指し、引き続き整備を進めていきます。

問 事故があった交差点も含め、今後の路線の安全対策について伺う。

都市建設部長 その箇所の信号機は、3年3月に設置が完了します。その他の安全施設の整備に関しても、万全を尽くしていきます。

### お悔やみコーナーについて

問 死亡に伴う手続きの窓口は、どのくらいあるのか伺う。

市長公室長 死亡届が出された場合、健康保険、年金、税など通常必要となる一般的な手続きをはじめ、亡くなられた方によっては、印鑑登録証、介護保険証、身体障害者手帳など、返却の届出、さらに市営住宅にお住まいの方については、市営住宅に係る各種手続きなど、市役所内の様々な課で手続きが生じます。

問 ご遺族支援となるお悔やみコーナーの設置について伺う。

市長公室長 お悔やみコーナーとは、死亡届提出後各種手続きについて、ワンストップで行われるサービスであると認識しています。死亡届提出後の手続きは役所内の多岐にわたり、非常に複雑です。市民の利便性を図るために、このお悔

やみコーナーを設置することは非常に有用であると考えています。

一方で、現在の職員の配置の状況、また各課の業務負担の在り方など、考えなければならぬこともあります。お悔やみコーナーの設置は、慎重に検討を進めていきます。

問 お悔やみハンドブックの作成について伺う。

市長公室長 ハンドブックの作成は現在進めています。内容は、幅広く全ての手続きを記載するほうがいいのか、または、ある程度簡易な形がいいのか検討をしている最中です。今年度中に作成を進めていきます。

配布する時期は、その内容の確定の時期により、今年度中になるか、来年度になるかまだ決まっていないところです。ご遺族の方には届出をスムーズに行うため、非常に必要ツールになると思いますので、早急な作成を進めていきます。

### 自転車専用道路の整備について

問 本市の現状について伺う。

市長公室長 現在、本市では整備されていません。

問 今後、国・県・近隣市と連携した整備の予定について伺う。

市長公室長 現在、整備する予定はありませんが、隣のいわき市では防潮堤や既存の国道、県道、市道などを自転車の走行空間としてサイクリングルートを整備しています。

そのような事例を参考に、本市においてもサイクリングが楽しめる設備を含めて、市内外の方が気軽に体を動かせる施策について検討をしていきます。





村田 仁人 議員

# 南中郷駅周辺の整備について伺う

市長公室長

## 西側に駅前広場の整備を想定しています

### 市内小中学校の勤務状況について

**問** 教職員の時間外労働について伺う。

**教育長** 国の指針に基づき規則及び方針を策定して、時間外労働の上限を1ヶ月につき45時間以内とするなど、教職員の勤務時間の把握と適切な管理に努めています。

時間外労働の状況を客観的に把握するために、平成31年4月よりICTを活用して出退時刻を記録しています。

時間外労働の月平均が45時間を上回った教職員の割合は、昨年度の1年間においては48%です。

**問** 教職員の増員見込みについて伺う。

**教育長** 学校における教職員の配置人数は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」によって定められています。茨城県独自の事業として、学級編制の弾力

化による教員配置、学校の実態や課題に応じて学校への加配措置を行っています。当市においても、様々な支援員と事務員などの配置を行っています。

### 南中郷駅周辺の整備について

**問** 進捗状況について伺う。

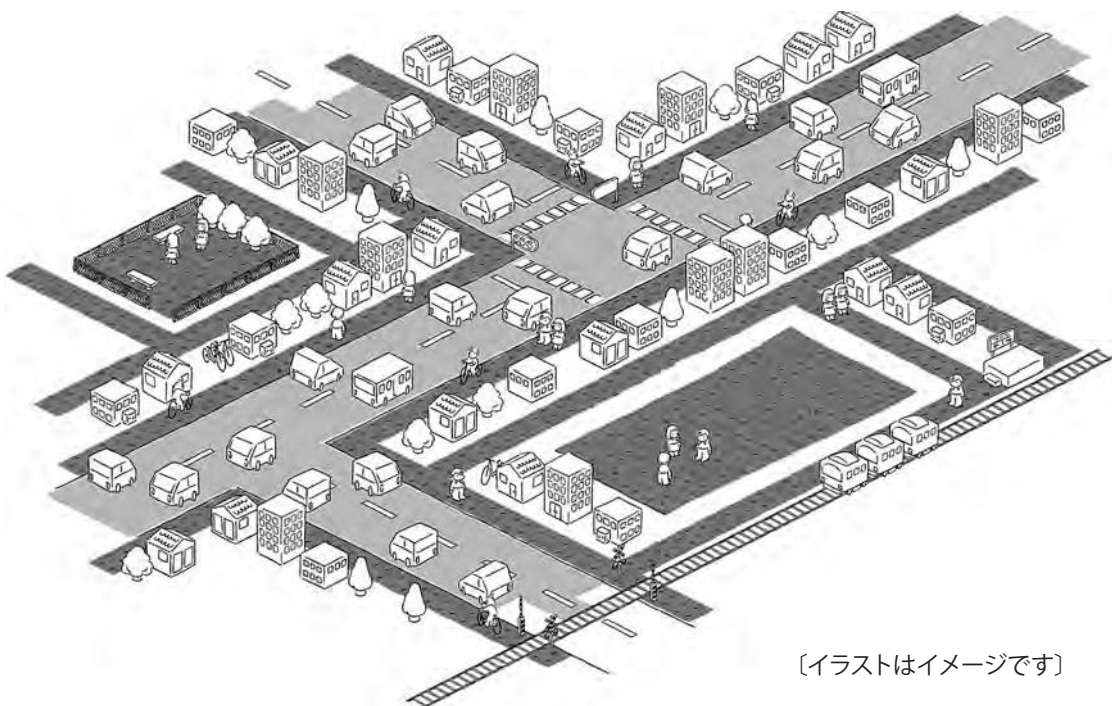
**市長公室長** 28年度に南中郷駅周辺市街地形成基礎調査を実施しました。

二市連絡幹線道路と駅とを結ぶ道路、南中郷駅西側の駅前広場の整備を想定しています。

### 種苗法改正について

**要望** 産業建設委員会「種苗法改正」反対の請願が全会一致で不採択となったが、本会議では賛成多数で請願は採択された。

国会では可決され、私も賛成なので、速やかな実施を求めます。



〔イラストはイメージです〕



蛭田 千香子 議員

# 出生数の減少に歯止めがかからない、 「出産祝金給付事業」の拡充について伺う

市民福祉部長

## 今後も子育て世代を応援します

**問** 出生数の減少に歯止めがかからないが、その最大のボトルネックが経済負担であると指摘されている。少子化対策として「出産祝金給付事業」の拡充について考えを伺う。

**市民福祉部長** 今後も現在の支給内容により、子育て世代を応援していきます。

**問** 男性の育児休暇について伺う。

**市長公室長** 当市では、出産の機会を迎える職員に対して育児休業制度や手続の案内を適宜行っており、男性職員の育児休業の取得促進を図っています。

また、所属長については、ワークライフバランスの研修を適時実施することにより、育児などを支援できるような職場環境の醸成を図っています。

国においても、国家公務員の男性職員による育児に伴う休暇・休業の取得促進に関する方針などが出されていることから、引き続き制度の周知・啓発を行うと

ともに、育児休業を取得しやすい環境の整備に努めていきます。

### 市役所庁舎の新型コロナウイルス感染拡大防止策について

**問** 市庁舎に、体温感知サーモグラフィによる検温計の設置について伺う。

**総務部長** 現在、県内の感染者が増加している状況の中で、体温感知サーモグラフィによる発熱の感知は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、来庁される方に対する一定の目安になると考えられます。今後、庁舎管理の在り方の中で、設置について検討します。

### 市民病院の感染症外来と新型コロナウイルス検査について

**問** 感染症外来受診の手順について伺う。

**市民病院事務部長** 電話での対応は、看護師が問診を行い、発熱、咳などの呼吸器症状、既往症、行動履歴などを確認し、感染症外来

受診かどうかを判断します。

直接来院した人には、玄関前の事務職2名と看護師1名が担当し、看護師の判断で問診などを行い感染症外来への案内をします。

受診していただく方については、一般の患者さんと動線を分けるために、診察までは車などで待機していただき、診察の際は電話でお呼びしています。

**問** 感染症外来と新型コロナウイルス検査について伺う。

**市民病院事務部長** 新型コロナウイルス感染症は、風邪の症状に似ているので、判断することが難しく、少しでも疑いがあれば感染症外来を受診していただくようになっていきます。

11月30日現在、759人が受診し、そのうちPCR検査が219件、抗原検査が99件、計318件になります。

**問** 新型コロナウイルス検査指定病院と保健所との連携について伺う。

**市民病院事務部長** まず、保健所から直接検査の依頼

があります。濃厚接触者であったり、患者さんが保健所に直接相談をして、検査すべきものは保健所で割り振りして、当院に検査依頼があります。その他、直接市民病院に相談される方がいます。

基本的には県に権限があり、保健所がその検査の一端を担うのが帰国・接触者外来です。当院も新型コロナウイルス検査ができる病院になっていますが、どちらかというと県主体の事業と考えています。

**問** 年末年始の感染症外来について伺う。

**市民病院事務部長** 年末年始の感染症外来の対応は、現在の状況を鑑み、12月29日から1月3日まで開設します。これについては、市広報紙の折り込みや市民病院HPを通じてお知らせをする予定です。

**要望** 年末年始に混乱がないよう要望する。



柴田 キクエ 議員

# 行政評価について外部からの意見を聞いているか伺う

市長 公室長 外部委員による会議を開催しています

**問** 当市の行政評価の現状について伺う。

**市長公室長** 当市の行政評価ですが、毎年度、総合計画の実施計画を策定するにあたり、各事業について事業の必要性、主体性、有効性、効率性、緊急性、この5つの観点から事務事業評価を行い、事業の重点化を進め、さらに事業の採択を行っています。

事業評価の方法は、各担当課で実施計画を立て行っています。

**問** 予算編成への反映について伺う。

**市長公室長** 事務事業評価を経て、実施計画事業として採択された事業については、事業の必要性と緊急性、市関与の必要性、事業の効率性が高いと評価された事業を予算編成においても優先的に財源が配分されています。

個別具体的に列記をするのはなかなか難しいところですが、予算編成のもので、編成した予算につ

いては、議会に議案として提出します。

**問** 住民の意見やニーズの把握について伺う。

**市長公室長** 第5次総合計画推進のための実施計画事業は、市民アンケートなどにより市民ニーズを把握して策定をしました。総合計画や各分野における計画に基づいた事業が大半を占めています。

**問** 外部からの意見は聞いているか伺う。

**市長公室長** 行政改革の推進や創生総合戦略の推進にあたっては、外部委員による会議を開催しています。その中で市政全般のご意見などについても伺いをしています。

あわせて、実施計画事業の事務評価については、毎年度、実施計画公表時に併せて、市のHPにおいて広く一般の市民の方にも公表をしています。

**問** 効果的な行政評価としての見解について伺う。

**市長公室長** 行政評価については、市の施策をより有意義なものとするために行われる事業検証の場です。

毎年度、総合計画の実施計画事業の実績成果などを確認し、事業の必要性、有効性などを判断していくことが重要であると考えています。

今後も、さらに効果的な行政評価の在り方について検討を重ねていくことにより、限られた行政資産を最大限活用し、この行政評価を当市の発展に寄与させていきます。



# 学校施設の老朽化対策について伺う



今井路江 議員

教育部長

安全で快適な環境維持に努めていきます

## 学校教育と環境について

**問** 新型コロナウイルス感染症対策について伺う。

**教育部長** 長期的な対応が見込まれる状況の中で、小中学校においても、国、県から学校の新しい生活様式として示されている衛生管理マニュアルや各種ガイドラインなどに基づいた対策を実施しています。

**問** 換気について伺う。

**教育部長** 授業中は、30分に1回は定期的に窓を開け換気をし、また可能な限り常時二方向の窓を同時に開け換気を行っています。これは冷暖房使用時においても同様の対応をしています。

換気による室温の低下の対策については、児童生徒に温かい服装を心がけるように指導し、保温や防寒目的の衣服の着用などについては、柔軟に現場で対応していきます。

**問** 消毒について伺う。

**教育部長** ドアノブ、手すり、スイッチなど、大勢が手を触れる箇所を中心に、

1日に1回、アルコールで消毒を行っています。

**問** 児童生徒への指導について伺う。

**教育部長** 毎日の検温、健康観察、マスク着用、こまめな手洗いなどの指導を徹底しています。これにより、習慣として定着してきており、学校における児童生徒の日常の姿となっています。ほかに教室の座席配置、給食当番の手指消毒、食事

中の会話の自粛などについても指導しており、家庭の協力も得ながら新型コロナウイルス感染症への対策に努めています。

道徳や学習活動の時間では、感染予防とすることができることや、誰でも感染するリスクがあることなどを、コロナウイルスの理解を深めることにより、感染症予防と差別や偏見の防止に取り組んでいます。



**問** 学校施設の老朽化対策について伺う。

**教育部長** 小中学校の施設については、体育館の雨漏りなど、経年劣化により修繕が必要な箇所があります。室内については、その都度、修繕工事を行い施設の維持管理に努めています。

このような中、教育委員会では、市の公共施設等管理計画に基づいて、学校施設の改築や大規模改修、修繕などを勘案した学校施設ごとの長寿命化計画を本年度策定しています。今後、この計画に基づきながら計画的に改修などを進め、施設の長寿命化を図っていきます。

また、今後も個別の修繕については、学校と連絡を密にしながら適時実施をし、安全で快適な環境維持に努めていきます。

## スポーツ施設の整備について

**問** サッカー・ラグビー場の人工芝化について伺う。

**教育部長** サッカー・ラグビー場については、現在の

使用状況や人工芝化工事費、その後の維持管理費などを考慮し、現在人工芝化の予定はありません。

現在、グラウンドは、指定管理者と協議を行いながら、使用者が満足できるよう維持管理に努めています。

## 火葬場について

**問** ペースメーカーの対応について伺う。

**環境産業部長** ペースメーカーは、内臓されているリチウム電池が火葬の際に破裂することがあり、それにより御遺体及び火葬炉に問題が生じるおそれがあることから、原則としては取り外しをお願いしているところです。

取り外しをしなくても、火葬しています。

**問** 待合室の洋式化について伺う。

**環境産業部長** 現在予定はありません。高齢者や足の不自由の方などに配慮し、待合ホールに椅子を設置しています。





鈴木 康子 議員

## 高齢者の補聴器購入の公費補助について伺う

市民福祉部長

範囲やニーズなどよく調査した上で、今後慎重に検討していきます

### 甲状腺超音波検査 2巡目について

問 実施実績を伺う。

**市民福祉部長** 平成30年度は8〜17歳、対象者3208人のうち受診者1999人で62・1%。令和元年度は、前年度未受診者9〜18歳で1230人、19〜27歳2687人、計3917人が対象、受診者は9〜18歳で70名、19〜27歳は676名、計746人、割合はそれぞれ5・7%、25・2%です。全体では対象者5895人、受診者2737人、46・4%です。なお1巡目は、対象者7699人、受診者4777人、62%でした。予算は30年度で2860万7千円、支出2007万2千円、元年度は前年度繰越しと当初予算で1830万9千円、支出済額1352万8千円です。

**問** 結果公表は本年夏ごろの予定だったが、いかがか。  
**市民福祉部長** 北茨城市甲状腺超音波検査事業検討協議会の審議を経て8月末には公表を行う予定でしたが、

コロナ禍でのリモート会議では結論を出せませんでした。現在、読影の判定区分について委員に提示をしており、了承が得られ次第、公表を考えています。

### 福島第1原発の「処理水」の対応方針について

**問** 福島第1原発の「処理水」処分について、国は海洋放出の方向を示し住民説明会などが開かれ、漁業者をはじめ大きな反発がおきている。この海洋放出の危険性について、市長の考えを伺う。

**市長** 経済産業省から連絡があり何度となく話を伺い、汚染水を処理した処理水であるから早く処理していただきたいと、大臣に直接会って申し上げました。

**問** 対策を求めても、実際に購買が伸び悩めば生産者の誇りをも奪うことでもあり、せめて拙速な判断をするなどの要望をしていたきたいが、市長の考えはいかがか。

**市長** 海洋放出は、世界基準値よりもっと厳しく考

えており何ら問題ないと理解していますし、それでも「風評被害」が起これば、それは国が責任を持つべきことです。

**要望** 放射性トリチウムは科学的解明は進んでいないので、新たな「安全神話」に縛られることなく、独自に考える姿勢が必要だと要望する。

### 難聴者への補聴器等購入について

**問** 難聴児への支援について実績を伺う。

**市民福祉部長** 補聴器等購入支援は2種類あり、補装具は聴覚の障害者手帳所持者が対象で、機器購入及び修理に対し年に数件の申請に助成しています。軽度・中等度難聴児補聴器購入支援制度は、手帳交付対象でない方の機器購入に助成をしています。

**問** 維持費や成長につれての交換・買い替えに際しての公費補助はいかがか。

**市民福祉部長** 補聴器の維持費は、両制度とも利用者の実費負担となっています。

補聴器本体は貸与年数の5年が経過すれば、両制度とも再交付が可能であり、成長により耳の形状が変わった場合などのイヤモールド部分は再交付が可能です。

**問** 加齢性難聴の生活や健康などへの影響について見解を伺う。

**市民福祉部長** 加齢性難聴は、日常生活を不便にするだけでなく、コミュニケーション不足による脳への刺激が少なくなるなどから、認知症の要因とも考えられると認識しています。

**問** 補聴器購入の公費補助について伺う。

**市民福祉部長** 補助制度の導入は、支給対象者の範囲やニーズなどよく調査した上で、今後慎重に検討していきます。

**要望** 古河市は、65歳以上で1万円の補助をしている。補聴器への支援制度の創設を求めるとともに、今後国に対して、保険適用をも視野に入れての働きかけを強く要望する。

会期中にそれぞれ委員会を開催し、委員会に付託された議案の審査を行いました。

また、委員会の分掌に関する事項についても質疑を行っています。ここでは、委員会での質疑の一部を紹介いたします。

## 産業建設委員会

12月9日に開催され、付託された議案6件を審査し、その他については質問文書を提出し、文書で回答を受けました。

### 補正予算について

**問** 衛生費について伺う。

**答** ごみ処理費1353万円はパッカー車の新規購入費です。

**問** 農林水産費について伺う。

**答** 林業総務費309万9千円は、負担金補助及び交付金です。

有害鳥獣捕獲隊補助金225万円  
有害鳥獣捕獲隊補助金225万円  
の減額は、県の補助頭数拡大に伴い、イノシシの捕獲に対する経

費を明確にする必要があることから、予算の組み替えを行います。

鳥獣被害防止総合対策事業補助金525万円の増額は、有害鳥獣捕獲隊補助金からの予算組み替え及び当初捕獲頭数の超過が見込まれることから増額するものです。

有害鳥獣被害防止対策協議会補助金9万9千円の増額は、イノシシ用電気止め刺し機3台の購入費です。

**問** 土木費について伺う。

**答** 道路新設改良費400万円は、消防本部の道を挟んだ西側にあるわらび平地区の生活道路整備、磯原中学校南側にある桶仕内地区の生活道路整備にそれぞれ200万円の増額としました。

### 大津町北町3丁目「辻児童公園」の状況について

**答** 辻公園は、設置から40年以上が経過し公園内の樹木もかなり生育しており、近隣住民からの要望もあり、今後は、公園内の樹木がもつ効果も考えながら、計画的な剪定などを検討していきます。

### 北町・浜田線の里根川交差点改良について

**答** 里根川交差点については、令和3年3月には信号機が設置されることになりましたので、信号機の設置に合わせて安全施設の整備を行う予定です。

**問** 近隣踏切の改良について伺う。

**答** 近隣踏切である「新町踏切」は、市民病院に通じる道路にあり、災害時の避難道路ともなる重要路線と認識しています。今後、踏切の拡幅など改良については、検討していきます。

### 十石堀周辺整備について

**問** 水洗トイレ設置について伺う。

**答** 「十石堀親水公園」への水洗トイレ設置については、茨城県の県北地域活力創造プロジェクト事業補助金の2千万円を活用し整備します。

整備概要については、拡張した駐車場へ延床面積約30㎡の水洗トイレを計画しています。女性用1室、男性用1室、多目的トイレ1

室のコンパクトかつ機能的なトイレ整備を考えています。

### イノシシの捕獲について

**問** イノシシの捕獲状況について伺う。

**答** イノシシの捕獲については、4月～11月14日の狩猟期間外であっても、有害鳥獣の捕獲を許可することにより、1年を通して捕獲活動に取り組んでいます。

2年度は、11月14日現在で351頭のイノシシが捕獲隊により捕獲され、15日からの狩猟期間における捕獲実績をふまえると、当初予定数の650頭を超過する捕獲数が見込めます。

**問** 東京電力の補償について伺う。

**答** 当市では、捕獲したイノシシの処分経費として、1頭当たり1万5千円の助成や水田への電気柵設置補助など、農作物の被害防止を推進しています。

東京電力への損害賠償請求については、これらに対する市の負担額を請求しており、2年度は399万円を請求し、査定により75万5千円の賠償金を受けています。

## 文教厚生委員会

12月10日に開催され、付託された議案11件を審査し、その他の事項については質問文書を提出し、文書で回答を受けました。

また、15日に追加議案1件を審査しました。

### 指定管理者制度について

**問** 今回の選定について伺う。

**答** 老人福祉センター、デイ・サービスセンター、心身障害者福祉センターともに前回同様、市社会福祉協議会の指定です。

11箇所のスポーツ関連施設については2社の応募で、引き続きミズノスポーツサービス株式会社を選定しました。入札価格は、前回より1千万円ほど増加しています。が、あゆみドームをはじめ新たな管理業務と人員配置が増えたためです。

### 新磯原中学校について

**問** 北茨城市立学校設置条例の改正について伺う。

**答** 磯原中学校の新設移転に伴う

住所変更と、華川中学校が磯原中学校と統合になるための改正です。統合は予定どおり4月です。

工事は、新型コロナウイルス感染症の影響により遅れてしまいました。資材調達や下請け業者の人材確保に困難をきたしたためです。

7月に関係者への内覧会を実施する予定、夏季休業期間に引越し作業をし、部活動や課外授業などに一部使用、9月の2学期から全面的に供用開始となります。

建物周りの舗装や駐輪場などの外構工事にも遅れが生じていますが、7月初旬の完成を予定しています。

また、9月の開校予定時には、歩行者は南側に施工中の都市計画道路駅西停車場・豊田線の歩道を利用し、乗用車や給食運搬車は敷地北側の進入路を活用します。

**問** 生徒数と教員数の変更を伺う。

**答** 現在、華川中44名、磯原中341名、来年は、磯原中382名の予定です。教員数は、現在華川中14名、磯原中29名です。新磯原中では、校長、教頭2名あわせて30名の人員配置の予定です。

**問** 制服についてはいかがか。

**答** 華川中から移籍する生徒には補助があります。なお、新しい磯原中の制服にはストラップも用意されています。

### 教育全般について

**問** 小中学校の教育活動の進捗状況はいかがか。

**答** 通常授業は、1月中旬に各学校の定める年間指導計画通りに戻る予定です。

宿泊学習と修学旅行の代替行事については、日帰りで実施できる内容を工夫して計画し、順次実施しています。

**問** 不登校児童・生徒の現況について伺う。

**答** 本年度10月末の不登校数と率については、小学校7人で0・37%、中学校23人で2・30%、小・中学校計30人で1・04%です。前年と比べ、小学校で2人減、中学校で3人増です。

コロナ禍と不登校が直接関連付けられる事案は、確認されていません。

### 新給食センターについて

**問** 民間委託の導入について伺う。

**答** 現在の調理員は、正規職員2名、再任用職員1名、会計年度任用職員は26名です。

管理部門は正規職員と栄養士で行い、基本的運営、献立作成、食材調達をします。調理部門について民間委託の予定です。

新センターは、ウェットシステムからドライシステムに変わり、衛生上、汚染・非汚染エリアなど細かく作業場が分かれ、人員も増やします。新システム対応には、経験豊富な指導者の配置で指示系統を一本化することが良いと考えました。

**問** 処遇の変更や人件費についてはいかがか。

**答** 委託費の84%は人件費で直営とほぼ同額です。プロポーザルの仕様書では、会計年度任用職員の優先的な雇用を明記し、現在の時給は保障されると考えています。4月から委託を始め、夏休みはシミュレーション期間として研修します。令和4年度からは、米飯作業が加わり、さらに人員増となる予定です。

### 市民病院について

**問** 市民病院特別会計のうち、コロナ関連予算について伺う。

**答** 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金として約3億円の交付金がいります。コロナ感染症患者への対応に常時病床を用意しており、それへの支援金を含みます。

**問** PCR検査はいかがか。

**答** PCRなどの検査数は、11月30日現在で1072件です。

## 総務委員会

11月30日に開催され、付託された先議議案2件を審査し、また12月11日に付託された議案3件、請願4件と継続請願4件を審査し、その他については質問文書を提出し、文書で回答を受けました。15日には追加議案1件を審査しました。

### 一般会計補正予算第6号について

答 既定の予算総額に補正額2億9829万9千円を追加し、総額324億4049万8千円とします。主な財源は、国庫支出金4500万9千円、県支出金2673万円、繰入金9869万8千円、繰越金1億9240万3千円です。

### 災害備蓄品の新旧入替について

答 今年度は、市内自主防災組織など要望のあった団体に配布しています。

### キャッシュレス決済について

答 当市では、市民の利便性向上のために、市税など収納において、クレジットカードやスマートフォン

アプリを利用した納付をすでに導入しています。

### SNS活用による情報発信について

問 当市広報の現状と課題について伺う。

答 SNSでは、市公式ツイッターを用いて情報発信を行っており、市民が求める情報に対して、適時性を持った対応が出来る体制を構築しています。

### 各課との連携について伺う。

答 各課と連携して、市公式HPの新着記事のお知らせを行っているほか、国・県・その他行政機関の発信情報を再掲するなど、市に関連する情報も発信しています。

問 市ウェブサイトとの連携について伺う。

答 市公式HPの記事を投稿する際は、原則として、該当記事のリンクを掲載しています。

### 行政手続きにおける押印廃止の検討について

答 今後、国・県の押印廃止の実施状況や、国から示される押印廃止ガイドラインなどを参考に、検討し実施していきます。

### 複合防災センターの工事進捗状況について

答 概ね予定どおり進んでおり、本体工事については令和3年3月に竣工予定です。

### コンビニ交付と窓口交付件数について

答 コンビニ交付（住民票、印鑑登録証明書、税証明）及び窓口交付の推移は、左表のとおりです。

令和2年度		7月	8月	9月	10月	11月
住民票	コンビニ交付	-	36	30	39	35
	窓口交付	1,580	1,141	1,203	1,305	1,234
印鑑証明	コンビニ交付	-	21	28	23	25
	窓口交付	1,130	790	977	967	762
税証明	コンビニ交付	-	10	6	7	7
	窓口交付	1,158	438	476	464	390

### コロナ禍の高速バスの利用者との駐車場の出庫台数の推移について

答 左表のとおりです。

<出庫台数> [単位:台]

	令和2年度	令和元年度	比較(台)	比較(%)
4月	283	1,189	△ 906	△ 76.2
5月	253	1,660	△ 1,407	△ 84.8
6月	516	1,712	△ 1,196	△ 69.9
7月	505	1,475	△ 970	△ 65.8
8月	451	1,569	△ 1,118	△ 71.3
9月	475	1,884	△ 1,409	△ 74.8
10月	734	1,443	△ 709	△ 49.1
11月	631	1,660	△ 1,029	△ 62.0
計	3,848	12,592	△ 8,744	△ 69.4

<利用者> [単位:人]

	令和2年度	令和元年度	比較(人)	比較(%)
4月	57	1,218	△ 1,161	△ 95.3
5月	64	1,427	△ 1,363	△ 95.5
6月	182	1,238	△ 1,056	△ 85.3
7月	199	1,313	△ 1,114	△ 84.8
8月	154	1,560	△ 1,406	△ 90.1
9月	246	1,292	△ 1,046	△ 81.0
10月	290	1,155	△ 865	△ 74.9
11月	306	1,375	△ 1,069	△ 77.7
計	1,498	10,578	△ 9,080	△ 85.8

## 第4回定例会提出議案の審議結果

令和2年第4回定例会は、11月30日から12月15日までの16日間の会期で開催されました。提出された議案は、令和2年度北茨城市一般会計補正予算など23件。結果は次のとおりです。

	件名	議決の結果
議案第64号	北茨城市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び北茨城市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第65号	北茨城市職員の給与に関する条例及び北茨城市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第66号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任
議案第67号	和解について	可決
議案第68号	北茨城市老人福祉センター及び北茨城市デイ・サービスセンターの指定管理者の指定について	可決
議案第69号	北茨城市心身障害者福祉センターの指定管理者の指定について	可決
議案第70号	北茨城市スポーツ関連施設の指定管理者の指定について	可決
議案第71号	北茨城市大津漁村センターの指定管理者の指定について	可決
議案第72号	北茨城市観光関連施設の指定管理者の指定について	可決
議案第73号	汚泥焼却炉施設等の建設及び維持管理に関する事務の委託に関する規約の変更に関する協議について	可決
議案第74号	北茨城市火災予防条例の一部を改正する条例	可決
議案第75号	北茨城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第76号	北茨城市立学校設置条例の一部を改正する条例	可決
議案第77号	北茨城市民ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第78号	北茨城市公共下水道事業受益者負担金条例の一部を改正する条例	可決
議案第79号	令和2年度北茨城市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第80号	令和2年度北茨城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第81号	令和2年度北茨城市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第82号	令和2年度北茨城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第83号	令和2年度北茨城市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第84号	令和2年度北茨城市民病院事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第85号	教育委員会の教育長の任命について	同意
議案第86号	令和2年度北茨城市一般会計補正予算（第7号）	可決

## 請願の審査結果

### 不採択となったもの

- 請願 6 10人の市議会議員や議会事務局(員)の理不尽な言動で、名誉を傷つけられた市民が、市議会の正常な対応と名誉の回復や請願「不採択」の無効を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名  
紹介議員 和田 喜武
- 請願 7 公報誌「北茨城市議会だより」No99号、No100号発行部数13,000部他で、名誉を傷つけられた市民が、回収と謝罪の訂正記事を求めている請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名  
紹介議員 和田 喜武
- 請願 8 「北茨城市議会議員政治倫理条例」や「北茨城市職員服務規程」に抵触する手法、手段で署名簿を返還しようと画策し「市民を騙した」責任と署名簿の正しい対応で「政治倫理審査会」の設置を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名  
紹介議員 和田 喜武
- 請願 9 10人の市議会議員や議会事務局(員)の理不尽な言動で、名誉を傷つけられた市民が、名誉回復に必要な「北茨城市議会議員政治倫理条例」の廃止無効と早急な回復・設置を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名  
紹介議員 和田 喜武
- 請願 10 公序良俗や憲法16条、地方自治法117条・124条、会議規則、北茨城市議会議員政治倫理条例、市職員服務規程2条他に反する言動や「北茨城市議会だより」で、市民の名誉を傷つけ続ける10人の市議会議員や議会事務局(員)に対する抗議で、正しい対応と「議員と市民の話合いの場」を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名  
紹介議員 和田 喜武
- 請願 11 鈴木啓一議長・豊田弘俊副議長・須田議会事務局長が、請願の和田喜武紹介議員や請願者の市民へ、圧力を加え市民の権利や名誉の回復を求めた請願に対する理不尽な言動への抗議と、法や規則に則る正当な対応、同じく令和2年5月25日付、令和2年6月1日付に対する公平公正な対応を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 柴田 克彦  
紹介議員 和田 喜武
- 請願 12 尖閣諸島の防衛を強化し、国民の生命・安全・財産を守る体制作りを求める意見書の提出を求める請願  
水戸市石川4丁目4032-21  
幸福実現党茨城県本部 代表 川辺 賢一  
紹介議員 柴田 キクエ
- 請願 13 豊田弘俊副議長が高速バスチケット(北茨城～東京)の架空の請求や前橋への空出張に、憲法第16条で認められている請願の和田紹介議員へ圧力を加え、市民を「警察への電話」で脅したことに對し、特別委員会を設置して、責任ある対応を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名  
紹介議員 和田 喜武

- 請願 14 大平博之議員が、一般人を使い5人の議員に対し、住民監査請求を行った件等道理に反する北茨城市の指名業者や市職員（当時・元）から金銭を借り入れ未返済の件に、議会事務局員の接待や会議での暴言、さらに、市民の名誉を傷つける弁護士名を使っての理不尽で不穏当な発言に関する特別委員会を設置して真相を解明し、公平・公正な対応を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名  
紹介議員 和田 喜武
- 請願 15 地方自治法第 117 条「除斥」の徹底した履行と、法で認められている請願に難癖をつけ、理不尽な対応で「不採択」とした請願3と、全国議長会も間違いと認める令和2年6月1日付請願の未審議の責任と謝罪、そして速やかな正しい対応を求める請願  
北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外1名  
紹介議員 和田 喜武

## 全員協議会 11月30日、12月15日開催

11月30日は事務局から、請願10から請願15まで6件の請願の報告、執行部からは、「人権擁護委員の候補者の推薦について」など、議案の説明の他、新磯原中学校建設工事の進捗状況などの報告がありました。

12月15日は執行部から、「令和2年度北茨城市一般会計補正予算」など、2件の追加議案の説明がありました。

## 議会運営委員会 12月14日

12月14日に開催された議会運営委員会において、付託された請願13、請願14の2件について審査しました。

## 議案質疑

12月8日、蛭田千香子議員は、議案第79号「令和2年度北茨城市一般会計補正予算（第6号）」について、鈴木康子議員は、議案第71号「北茨城市大津漁村センターの指定管理者の指定について」、議案第72号「北茨城市観光関連施設の指定管理者の指定について」、議案第79号について議案質疑を行いました。

## 討論

11月30日、鈴木康子議員は、議案第65号「北茨城市職員の給与に関する条例及び北茨城市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例」について反対討論しました。

12月15日、鈴木康子議員は、議案第76号「北茨城市立学校設置条例の一部を改正する条例」、議案第79号「令和2年度北茨城市一般会計補正予算（第6号）」について反対討論しました。

## 動議の提出

11月30日に村田仁人議員より、「議会運営委員会委員長不信任決議案」、12月7日は和田喜武議員より、「副議長・議会だより編集委員長不信任決議案」、12月8日は和田喜武議員より、「議会運営委員会副委員長・総務委員会副委員長・議会だより編集委員不信任決議案」の動議が提出され、各決議案について採決の結果、いずれも可決されました。

### 表紙の解説

大北川と花園川の合流地点には、例年、30羽を数える白鳥が越冬のため飛来し、春になると北へ帰っていきます。遊びに来ていたお子さんが、鳥の呼吸・壺ノ型を披露してくれました。



テーマ  
展示

「震災復興記念 平潟港と八大龍王画」から  
4/24日～6/20日 休館：月曜日(5/3は開館・5/6は休館)

海をゆく一艘の小舟。画面の大部分は余白で空を表し、円の中の八大龍王らは上空から航海を見守るように描かれています。賛者「壁龕居士」は岡倉天心の別号で、添えられた画賛は「玄天風静 慈海波寧 布帆無恙 永仰威靈」と、海の平穏を祈る内容となっています。

本作を描いた橋本永邦は、天心とともに日本画の発展に尽力した橋本雅邦の次男にあたる日本画家です。本作が納められた桐箱には、天心の自筆で「鈴木庄兵衛願也」と書かれており、鈴木が一員であった平潟町小船組合の依頼で制作されたことがわかります。八大龍王は、古くから海上の守護神として信仰されてきました。天心自身、愛用の舟に「龍王丸」と名付けたことから、龍王信仰者の一人でもあったことが窺えます。趣味の釣りを通じて交流した鈴木のために、天心と永邦は相応しい一図を手掛けたと言えるでしょう。

本作は現在も平潟町小型船組合が大切に保管しています。当館の空調工事終了後、岡倉天心記念室内で展示を予定しておりますので是非ご来館ください。



橋本永邦(岡倉天心賛)  
「八大龍王画」  
大正元年(1912)  
平潟小型船組合蔵

茨城県天心記念五浦美術館  
学芸員 塩田 稔雄

令和3年第1回定例会日程(予定)

令和3年第1回定例会は、2月8日から2月24日までの17日間の予定です。

- 2月8日(月) 本会議 (議案説明など)
- 2月15日(月) 本会議 (一般質問)
- 2月16日(火) 本会議 (一般質問)
- 2月17日(水) 産業建設委員会 (議案審査)
- 2月18日(木) 文教厚生委員会 (議案審査)
- 2月19日(金) 総務委員会 (議案審査)
- 2月24日(水) 本会議 (採決など)

● 議会だより編集委員会委員 ●

- |      |         |
|------|---------|
| 委員 長 | 豊田 弘 俊  |
| 編集 長 | 上神谷 英 典 |
| 副編集長 | 鈴木 康 子  |
| 委員   | 蛭田 千香子  |
| 委員   | 柴田 キクエ  |
| 委員   | 鈴木 弥太郎  |
| 委員   | 和田 喜 武  |

編集後記



2020年は、新型コロナウイルス感染症に始まり、終わるといって一年でした。

緊急事態宣言による自粛、三密、マスク、新しい生活様式と、これまでの考え方を180度転換させる世相でした。

コロナ禍の議会で、本会議場での傍聴を控えるなどご協力をお願いいたします。

この議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、新型コロナウイルスの接種が進んでいることを切に願います。日本が、世界が、輝く一年になることを祈ります。

2021年が皆様にとって良い一年になるために、これからも皆様の声を市政に届けて参ります。今後とも議会だよりをよろしく願います。

(豊田弘俊 記)